

# PCフォーラム

## JA水郷つくばパソコン研究会会報

2020年10月号

事務局：JA水郷つくば 営農部営農企画課

住所：土浦市田中1-1-4 電話：823-7001

ホームページ <https://www.dappe.com/>

ブログ <http://dappe.chicappa.jp/japc/>

メールアドレス [japc1@dappe.com](mailto:japc1@dappe.com)

FACEBOOK JA水郷つくばパソコン研究会

Instagram #JA水郷つくばパソコン研究会

定例会予定 今月のテーマ:デジカメ、エクセル、スマホ



### ◆10月06日 撮影会(カービング講座など夜の部は無し)

20日 テジカメ講座、ワードなど

### ◆11月10日 カービング講座、ワードで地図作成など

24日 テジカメ講座、エクセルなど

### ◆12月01日 カービング講座、エクセルなど

08日 WEB定例会

\*変更になる場合がありますので、HP等でご確認ください。

## 秋の撮影会お知らせ



皆さん、いかがお過ごしですか。稲刈りもだいぶ進んだことと思いますが、レンコン堀りも始まっているし秋の農繁期もほぼお天気も恵まれているのではないかと思います。昨年の台風19号の被害などが思い出されますが、今年はまだ大型台風が関東地方に来ていないのが救いですね。

さて、今年も10月には撮影会をと思っていたのですが、WEBで定例会をしていこうという流れの中、現地集合で行うこととなりました。撮影場所は、笠間市稲田の石切山脈になりました。近年人気の高いこの場所は稲田石を切り出した石切り場でそのスケールは圧倒されるものがあります。見学案内をしてくれるということで、それも予約していきたいと思います。皆さんのご参加をお待ちしています。

## 特集 パソコンのゴミとは

パソコンを起動後、使っているうちに動作が重くなる。そんな経験をしたことがあるだろう。これは、たくさんのアプリケーションソフトを起動して発生した、大量の“ごみ”データがメインメモリーを占有しているのが原因である。メモリーは、パソコンがデータ処理に使う、言わば“作業スペース”。作業スペースの空きが多いほど処理は速く済む。ところが、メモリー上には処理中のデータはもちろん、使い終わったソフトのデータがそのまま残ることがある。これが動作の足かせになる。

そんな話を聞いたことがあるでしょうか。

それは不要なファイルが残っているとパソコンの立ち上がりや動作が遅くなるのです。ノートパソコンの場合は、液晶を閉じるとスリープ態になりますが、それを繰り返していると不要ファイルがたまっていきます。それを意識して時々再起動をしたりディスクのクリーンアップをしましょう。

### ■文書の整理

[マイドキュメント]のフォルダなどに保存されている古くなった文書を削除しましょう。削除したら、残ったファイルを保管するためのフォルダを作成します。家計簿、請求書、旅行関係など、文書の内容ごとにファイルを作成すると良いでしょう。

### ■一時ファイルの削除

コンピュータで文書作成をしたりWeb閲覧をしていると、一時的にその情報が保存されることがあります。このファイルを「一時ファイル」といい、知らない間にコンピュータ上に自動保存されています。これらのファイルは不要な情報なので、削除しましょう。



### 【編集後記】

ますますラインなどの SNS を利用していこうと思います。メール、フェイスブック、インスタグラム、twitter、ブログなど思い切って発信しようという気持ちをもって始めてみませんか。作ってある方は更新しましょう。メーリングリストでは課題などを出していますのでやってみてください。また、年度末近くにはこれまでやったことの試験を行っていこうと思っています。小林

## 撮影会日程

日時 10月6日(火)  
集合場所 そば処 のざわ 笠間市稲田 1414  
TEL 0296-74-3876  
集合時間 11時30分  
撮影場所 笠間市稲田 石切山脈 13時～14時  
稲田禅房西念寺 14時30分～15時30分  
会費 1,000円



### 稲田禅房西念寺（稲田御坊）

親鸞聖人ゆかりの浄土真宗の聖地で、山号は稲田山。聖人は、40～60歳頃まで恵信尼公や子供たちと家庭生活を稲田で営み、『教行信証』を書き始めました。この地は、聖人の関東布教の拠点でありました。

### 石切山脈

石切山脈（いしきりさんみゃく）とは、八溝山系東西約10キロメートル、南北約5キロメートルの広大な地域「稲田沢」の通称とされています。地下には深さ約1.5キロメートルまで続いていると言われています。この石切山脈内に、美しい石がたくさん眠っており、現在も採掘会社が数社で採掘の作業をしているのだとか。ここで採れた石を「稲田石」と呼んでいます。

